

入野小学校

『心豊かで、たくましい  
子どもの育成』

校長 芝 雅人

◆はじめに

入野小学校の2016年度の児童数は、11月末現在で126人(男子63人、女子63人)です。学校沿革史を見ると最多児童数は1956(昭和31)年545人。その後減少し、300人を割りますが、1975(昭和50)年頃から増加に転じ1982(昭和57)年には再び児童数が400人を超えています。その頃を思うと少し寂しい気もしますが、学校には子どもたちの元気で楽しそうな声がいっぱいに響いています。



◆どんな授業を目指すのか

学校の教育目標は「心豊かで、たくましい子どもの育成」です。入野小学校では学校教育活動をを通して「心豊かな子

ども」「たくましい子ども」に育てることを目指して日々を送っています。

これは「願いたい」とも言えます。私たちが教職員は感性の豊かな子どもたちに育ってほしい、他の人の気持ちや願いを推しはかれる人に育ってほしいと願いながら取り組んでいます。もう一つの「たくましい子ども」については、身体的な面だけでなく、当たり前のことが当たり前にできるような心の面でのたくましさ・根気強さをもつ子どもに育ってほしいと願っています。

私たちが入野小教職員は毎週水曜日に話し合いの時間を持っていますが、「そのような子どもたちを授業を通してどのよう育てるか」を



考える話し合い(校内職員研修)も行っています。今年度もテーマを「かわり合い、学び合う子どもを育てる」とし、算数の授業を通して研修を進めているところです。こ

の「かわり合う」と「学び合う」が「心豊か」と「たくましい」の両方に関連していると考えています。例えば、「A君の考えとBさんの考えは、この部分が似ている」「Cさんの意見は、こんな考え方だと思う」という見方が他の人の考えを推しはかる子どもたちに育つ道筋の1つだと思っています。

そして、誤答であっても、「その考え方は面白い」「すごい」「すごい」のように、正誤だけでなくアイデア・考え方・見方のもつ価値にも気づけるようになってほしいと思っています。そのため私たちは、「絵や図、既習事項などを使って、自力解決する授業」「考え方の良さやおもしろさを見つけようとする授業」というような授業を行うことも目指して取り組んでいます。



◆学力の状況

四月に行った標準学力調査の結果は次の通りです。

平成28年度標準学力調査結果 (全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年
国語	0.99	0.89	1.00	0.96
算数	1.04	1.03	1.00	0.93

厳しい状況もありますが、改善に向けて「計算タイム」、「くろしおタイム」、「ノート紹介」など、新たに設けた取組、充実させるために改善した取組などで頑張っているところです。

特に4～6年生の「くろしおタイム」では国語と算数で「考えを書く」ことを中心に取り組んでいます。国語では新聞記事を読んでまとめたり、内容に対する考えを書いたりする課題に取り組んでいます。算数でも「なぜ、そうなるのか」を書く課題に取り組んでいます。やや難しい内容です

◆ホームページのご案内

入野小学校ホームページでは今回ご紹介できなかった子どもたちの様子も見ていただけます。左の写真は見づらくページです。スマートフォンでは少し違う表示になりますが、内容は同じものを見ていただけます。「黒潮町立入野小学校」で検索するか、次のアドレスをご入力ください。

http://www.irino-e-town.kunoshio.lg.jp/



南郷小学校

『なかよく  
かしくく たくましく』

校長 則ルリ

◆はじめに

校庭の石碑に刻まれている校訓「なかよくかしくく たくましく」、そして「自ら学び、すすんで行動する子どもを育てる」の学校教育目標のもと、知・徳・体・命をバランス良く施し生きていく力を育むために、地道な取組を進めています。児童は素朴で明るく、学年関係なく全校児童で仲良く元気に遊ぶことができます。保護者・地域とも、学校に対して温かくとても協力的です。



◆朝は、あいさつとマラソンでスタート!

子どもたちの登校は早く、7時頃から始まります。みんなに、「おはようございます」と元気にあいさつをして教室に向かいます。課題であった

地域でのあいさつも、児童会による毎週火・木曜日のあいさつ運動の取組により、「地域でも、あいさつができるようになっていく」との声をいただけるようになっていきます。



50m1本!

朝8時からマラソン(ランランタイム)と50m1本で頑張りスイッチが入り、1日をスタートさせている「南郷っ子」です。

◆防災教育と防災への取組

本校は、海拔6.6m、海からの直線で670mの場所に位置していることから、防災教育は学校の重点課題と位置付け「防災教育の風土づくり」に向け、毎月の避難訓練、朝マラソン、炊出し訓練、防災学習・研修、保護者・地域との連携など、実践を積み重ねています。

今年度の「防災参観日」は、防災時に起こり得るジレンマを想定して、ゲーム形式で防災を学ぶ授業を行い、保護者・地域の方と全校児童が、災害

時の避難行動について考え、意見を交わしました。

◆学力の定着 向上に向けて

今年度も研究主題や研究教科(算数科)は引き続き、授業改善と学力向上に取り組んでいます。

《主な取組》

- ①校内研修の充実
- ②全学級が講師を招聘しての研究授業の実施
- ③複式学級の学びと授業スタンダードの確立
- ④基礎学習・チャレンジ(放課後学習)・フライデータイム(視写)などの継続
- ⑤家庭学習の手引きの活用と定着、家庭学習の完遂
- ⑥長期休業中の加力学習
- ⑦教育環境の整備：など

◆標準学力調査結果より

学力をつけることは、1人の子どもたちの個性や能力を伸ばし、幅広く豊かな進路、夢の実現や目標の達成など、豊かな未来に向けた大切な営みです。平均点だけでなく、個々の結果を分析・把握し、課題解決ができるように、全教職員が方針を合わせて「チーム南郷」で、学力の定着と伸長に取り組んでいます。

平成28年度標準学力調査結果

(全国を1とする)

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	1.04	1.06	1.12	1.03	
算数	1.02	1.12	1.06	0.98	
理科			1.06	0.92	1.00

右記は、今年4月に実施した標準学力調査の結果です。

◆学校・家庭・地域との連携

生活科や総合的な学習の時間を使い、フィールドワーク、聞き取り学習、そして地域の高齢者や施設利用者などとの交流を通して、地域の方々の願いや生き方にふれ、共に生きることの大切さを学んでいます。

地域の方々と、ふれあい親しみを深める活動としては、昔遊びを通しての三世代ふれあい参観日、グラントゴルフ、ふれあいサロンなどを行っています。

保護者、地域の方々は、引



地域の方による太刀踊りの指導

き続き、登校時の見守り活動(街頭指導)、そして、教育ボランティアとして毎週金曜日の朝の読み聞かせ、夏休み夜間の太刀踊りの指導、米作り学習、大根交流、手話学習などで学校に関わってください。重ねて、運動会やスカッシュ大会、愛校作業なども地域の方々の参加や協力を得て、子どもたちはもちろん、学校教育にとって大きな支えとなっています。地域の行事には児童の参加が増え、行事の伝承ができていくように感じます。これからも、地域の方々に、子どもたちのことを知ってもらい、子どもたちも地域の方々を知っているという関係をつくりながら、地域を誇りに思い、地域を愛する子どもを育てていきたいと思っています。